



独立行政法人 労働者健康安全機構
山形産業保健総合支援センター

職場における産業保健活動を無料で支援します。

TEL.023-624-5188
受付時間：平日8:30～17:15

さんぽ山形メールマガジン 第164号

2021/10/11

■Y a m a g a t a ■

山形産業保健総合支援センター メールマガジン 第164号

2021年10月11日 発行

■Y a m a g a t a ■

日頃より当センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

本日は「さんぽ山形メールマガジン」の第164号をお届けいたします。

研修会・セミナーにつきましては、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を確実に講じながら開催するとともに、WEBによる研修会等も企画して参ります。

随時ホームページ等においてご案内いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

☆☆

◇◇産業保健相談員からの寄稿◇◇

今回は当センターの産業保健相談員である梅津則雄氏（担当分野：カウンセリング）からの寄稿文をご紹介します。

-----*

産業現場とメンタルヘルス（その2）

～産業現場から学んだもの～

産業保健相談員(カウンセリング担当) 梅津 則雄

前号に引き続き産業現場とメンタルヘルスについてお届けいたします。

促進員として事業所を訪問すると、常勤役員等が出迎えてくれて「我が事業所には2～3名程の長期休業者があり、対応に困っている。どのように対応したらよいか?」「職場復帰させる場合は主治医の診断書でよいか?」等多くの問題を抱えていることを把握できました。

その時はただちに「職場復帰支援プログラムを作りませんか。支援しますよ」とお願いしてきました。

「職場復帰支援プログラム」作成支援については、一義的には支援対象事業所の実態に応じて作成支援することに心がけてきました。

また、職場復帰支援プログラムは厚生労働省の職場復帰支援の手引きに基づき作成支援するようにしています。なにより、産業現場を病院化しないことを原則とし、職場復帰支援プログラムは比較的短期(軽度)で寛解する方を対象にしていることを念頭において作成支援をおこなっております。

日本企業の大多数は、中小企業であり職場復帰支援プログラム作成支援にあたり、その役割分担を担う産業保健スタッフは少なく、兼務者が多く機能させることができる体制をつくるのが課題と感じております。

職場復帰を決定するにあたり、主治医の診断書に基づいておこなわれているものがあり、「事業者」が決定するものであることを伝えると、「今まで行ってきたことを修正しなければならない。ぜひ、プログラム作成支援をお願いしたい」旨を話された担当者等もあり、多くの事業所は、多様な対応の必要性に驚愕したこともあります。

このような経験を踏まえ、現在は「治療と仕事の両立支援」にも取り組んでおります。本事業の難しさは認識しております。両立支援は個人情報オープンに出来ないこと等から支援が進まないこともありますが、次のように「事業所のメリット」・「労働者のメリット」がありますので、ぜひ、取り組んでいただくようお願いいたします。

事業所のメリット

- ・従業員の健康確保の推進 ・継続的な人材確保
- ・健康経営の実現 ・従業員のモチベーションアップ

従業員のメリット

- ・治療に関する配慮が行われることにより病気の悪化を防止
- ・治療を受けながら仕事の継続
- ・安心感やモチベーションアップ
- ・収入を得ること
- ・働くことによる社会への貢献

結語として

人生は一時の健康と言われています。分析家のユングは人生の正午は40歳代と記述しておりますが、人生100年の時代に入り心身の障害は人生の正午を過ぎれば「生・老・病・死」は人間であれば、いつか私も・・・であります。治療と仕事の両立支援は共生社会実現に不可欠の支援と心得ています。

-----*-----*-----*-----*-----*-----*-----*-----*-----*-----*

◇◇研修会・セミナー等のご案内◇◇

10月・11月に開催予定の研修会等につきましてお伝えいたします。

ご参加くださいますようお願いいたします。

○【Web研修会】「依存症」ってなに？～正しい理解と対応～（アルコール依存症・ギャンブル等依存症）

研修対象者 人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方

【研修のねらい】

「依存症」は誰でもなる可能性がある「病気」です。

しかし、依存症は本人に「病気」という自覚がない場合が多く、気づかないうちに進行してしまうケースが多くみられます。

あなたの身近なところにも、依存の問題を抱えているひとや悩んでいる家族がいるかもしれません。

今回の研修を通して、産業保健担当者・人事労務担当者として「依存症」の正しい理解を深め、今後、労働者やそのご家族において、「依存症かも」と思ったときの対応の参考にしてください。

【研修内容】

- ・依存症とは
- ・山形県精神保健福祉センターの事業について

日時 令和3年10月26日（火）14：00～15：00（終了時間は多少前後する場合があります。）

会場 山形産業保健総合支援センター Web会議システム『Zoom』

講師 山形県精神保健福祉センター 主任保健師 遠藤 小耶加 氏

定員 なし

・お申し込みはこちらから → <https://www.yamagatas.johas.go.jp/training/2021/08/1203.html>

・当センターHPの申し込みフォームよりお申込みください。受講申込みの方には、研修開催前の一週間前後に招待メールをお送りいたします。開催日3日前でも届かない場合やご不明な点がありましたら、お手数ですが当センターまでご連絡ください。

・カメラ・マイクなしのパソコンでも参加可能です。同一機関から複数名ご参加される場合は、一人ずつ別々にログインするようお願いいたします。

○ **【Web研修会】「メンタルヘルス不調者のリワーク（職場復帰）支援について」～**

「日常生活基礎力形成支援」の紹介～(第141回産業メンタルヘルス研修会)

研修対象者 人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方

【研修のねらい】

企業にとってリワーク支援を利用するメリットをご説明します。その中でリワーク支援における a：対象者のアセスメント、b：対象者の自己理解を促進させるための取組、c：今年度から新たに実施している日常生活基礎力形成支援について紹介し、利用者に提供している支援の一部を演習にて体験していただきます。

【研修内容】

1. 職業センターのリワーク支援の流れ（支援の進め方）
2. プログラムの内容
3. 支援技法の紹介（日常生活基礎力形成支援について）

日時 令和3年10月14日（木）14：00～16：00

会場 山形産業保健総合支援センター Web会議システム『Zoom』

講師 山形障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 柴山 雅人 氏

定員 40名

・お申し込みはこちらから → <https://www.yamagatas.johas.go.jp/training/2021/08/1207.html>

・当センターHPの申し込みフォームよりお申込みください。受講申込みの方には、研修開催前の一週間前後に招待メールをお送りいたします。開催日3日前でも届かない場合やご不明な点がございましたら、お手数ですが当センターまでご連絡ください。（事業所内での招待メールの転送はご遠慮ください。）

・カメラ・マイクなしのパソコンでも参加可能です。同一機関から複数名ご参加される場合は、一人ずつ別々にログインするようお願いいたします。

○【Web研修会】「職場のメンタルヘルス不調への対応～障害別特徴と配慮～」研修会

研修対象者 人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方

【研修のねらい】

総論として職場におけるメンタルヘルス不調の現状と課題（行政の動き、職場での課題）とメンタルヘルス対策の進め方を概観し、各論として主要なメンタルヘルス不全（疾患）の特徴と職場における具体的対応例を紹介し、円滑な雇用管理を実現する。

【研修内容】

1. 職場のメンタルヘルスの現状
2. 職場のメンタルヘルスに関する行政の動き
3. メンタルヘルス対策の進め方（予防と対処）
4. 職場における主要なメンタルヘルス不調の特徴
5. 主要なメンタルヘルス不調に対する具体的対応例

日時 令和3年11月12日（金）15：00～17：00

会場 山形産業保健総合支援センター Web会議システム『Zoom』

講師 山形産業保健総合支援センター 産業保健相談員（メンタルヘルス担当）

メンタルクリニック城西 院長 奥山 直行 氏

定員 40名

・お申し込みはこちらから → <https://www.yamagatas.johas.go.jp/training/2021/09/1222.html>

・当センターHPの申し込みフォームよりお申込みください。受講申込みの方には、研修開催前の一週間前後に招待メールをお送りいたします。開催日3日前でも届かない場合やご不明な点がございましたら、お手数ですが当センターまでご連絡ください。（事業所内での招待メールの転送はご遠慮ください。）

・カメラ・マイクなしのパソコンでも参加可能です。同一機関から複数名ご参加される場合は、一人ずつ別々にログインするようお願いいたします。

○【Web研修会】第1回「治療と仕事の両立支援」研修会

研修対象者 人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方

【研修のねらい】

少子高齢化が進む中、病気になっても働く意思があれば働き続けられる社会へ。「労働者である患者さん」を中心として、職場と医療機関との間で情報を取り合い、働く方々の治療と仕事の両立を支援することが、働き方改革の中で重要な位置づけとされています。

本研修を職場における両立支援の取り組みを推進する参考としていただければと思います

す。

【研修内容】

1. 治療と職業生活の両立支援の大切さ
2. 両立支援のメリット
3. 両立支援に関する制度・体制等の整備
4. 個別両立支援の進め
5. 職場復帰プラン

日時 令和3年11月24日(水) 14:00~16:00

(同内容で2回開催します。次回は令和4年1月26日(水)の予定です。)

会場 山形産業保健総合支援センター Web会議システム『Zoom』

講師 ・山形産業保健総合支援センター

産業保健相談員(産業医学)・武田内科胃腸科医院 副院長 武田 由美子 氏

定員 なし

・お申し込みはこちらから → <https://www.yamagatas.johas.go.jp/training/2021/09/1219.html>

・当センターHPの申し込みフォームよりお申込みください。受講申込みの方には、研修開催前の一週間前後に招待メールをお送りいたします。開催日3日前でも届かない場合やご不明な点がありましたら、お手数ですが当センターまでご連絡ください。(事業所内での招待メールの転送はご遠慮ください。)

・カメラ・マイクなしのパソコンでも参加可能です。同一機関から複数名ご参加される場合は、一人ずつ別々にログインするようお願いいたします。

～WEB研修会について～

当センターにおけるWEB研修会は『Zoom』というオンライン会議システムを使用します。研修会の参加につきましては、ブラウザからのアクセスも可能ですが、アプリケーションソフト「Zoom」をダウンロードしてのご参加をお勧めします。アプリケーションソフトのインストール可否については、状況に応じ社内システム管理者様にご確認の上、ご対応ください。

研修会当日、音が出ない・画像が映らない等の不具合がありましたら当センターまでご連絡ください。

・12月以降の研修会についてはこちらよりご確認ください。(山形産業保健総合支援センターホームページ 「研修のご案内」)

→ <https://www.yamagatas.johas.go.jp/training/>

次号は、10月第4週に配信予定です。

(編集人 副所長 木村勝則)

「「

◆当センターが開催する研修会・セミナー等における新型コロナウイルス感染症感染防止対策について(研修会等に参加ご希望の方は必ずお読みください。)

